

全農提供ラジオ番組のご紹介



<https://www.tfm.co.jp/agripower/>

- 放送日：毎週木曜日 6:15～6:25 (広島FM)
- パーソナリティ：川瀬良子さん



農業部

<https://www.tfm.co.jp/lock/nohgyou/>

- 放送日：毎週木曜日 23:00～23:06 (広島FM)
- パーソナリティ：鶴見 萌さん
大和明桜さん

全農 ZEN-NOH
COUNTDOWN JAPAN

<https://www.tfm.co.jp/cdj/>

- 放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送 (広島FM)
- パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん
安田レイさん

～全国FM38局で放送中～

JAグループ広島

JA全農ひろしまホームページ



<https://www.zennoh.or.jp/hr/>

JA全農ひろしま 営農情報LINE



JA全農ひろしま

JAグループ広島 営農通信

2023年

冬号



▲直進アシストトラクタ実演の様子
(JAグループ担い手アグリサミットにて)

◆米穀情報

- ①米の需給動向
- ②玄米の品質について

◆園芸情報

- ①広島県園芸振興協会の取り組み概要
- ②青果物の販売経過および情勢

◆TOPICS

- 耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の取り組み

◆営農技術情報

- 「令和5年度JAグループ担い手アグリサミット」報告

◆肥料・農薬情報

- 令和5年度水稻展示圃結果(農薬)について

◆農業機械情報

- ①中古農機マッチングシステム Re:Boon(リブーン)のご紹介
- ②共同購入コンバイン導入に向けた取り組みについて

米穀情報

① 米の需給動向

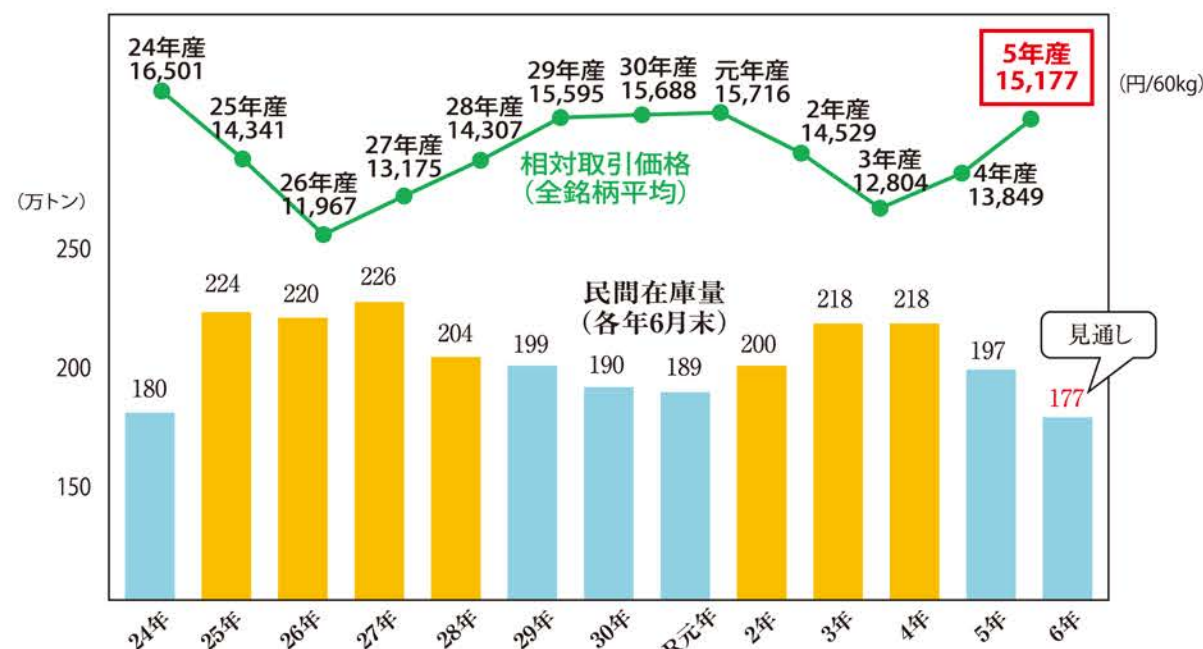
農林水産省は令和5年10月の食糧部会で主食用米等の需給見通しを公表しました。生産量や需要量の見通しを踏まえた令和6年6月末民間在庫は177万トンを見込み、令和6年産主食用米等の適正生産量は669万トンと、令和5年産と同水準であり、令和7年6月末の民間在庫量は需給均衡の目安とされる180万トンをやや下回る見通しとなりました。

【主食用米等の需給見通し（農林水産省の資料を基に作成）】（単位:万トン）

国の需給見通し(10/19食糧部会)			
令和5/6年	令和5年6月末民間在庫量	A	197
	令和5年産主食用米等生産量	B	662
	令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	859
	令和5/6年主食用米等需要量	D	682
	令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	177
令和6/7年	令和6年産主食用米等生産量	F	669
	令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F	847
	令和6/7年主食用米等需要量	H	671
	令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	176

注1：ラウンドの関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

【米の民間在庫と価格の関係（農林水産省の資料を基に作成）】



(注) 相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月(5年産は5年10月)までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

(出典) 農水省公表資料を基に作成

② 玄米の品質について

(1) 令和5年産米の全国的な状況

令和5年は、7月から8月にかけて全国各地で記録的な猛暑となり、降水量は平年の半分に満たない地域が多く見られました。そのため一部の地域において、高温と渇水がイネの生育に影響し、白未熟粒などが例年に比べて多く発生しています。

こうした状況を踏まえ、JA全農は消費者に向け、白く濁った米粒が多く含まれている精米商品を通常のお米と同様の食感で召し上がっていただくため、炊飯時に水の量を減らすことや、炊飯器の早炊き機能を活用することが効果的であることなど、品質に関する情報発信をしています。

(2) 近年の広島県における状況

広島県においても、今夏は記録的な猛暑となりましたが、例年に比べ高温障害による充実度不足、未熟粒、乳白粒が多く発生しています。

併せて、近年、JA全農ひろしまパールライス工場の玄米荷受検査において、胴割粒の発生が目立つ傾向にあります。

実需者は胴割粒発生に相関の高い玄米水分値を重視する傾向にあります。胴割粒が多いと、搗精過程で粒が割れやすくなったり、炊き上がりがベチャついたりする等、食味に影響を与え、産地の評価低下につながる恐れがあります。

胴割粒発生の要因は複数ありますが、生産現場における収穫遅れや収穫後の過乾燥などが胴割粒の発生につながる要因となり得るため、令和6年産米に向け肥培管理と併せて、今一度ご留意をお願いします。



JA全農ひろしまパールライス工場の品質管理室では生産者の皆様から出荷いただいたお米を消費者に安心してご購入いただくため、日々お米の検査・分析を行っています。

■ 全農ひろしま米穀ホームページ <https://www.zennoh.or.jp/hr/iine/>
※トップページから、「米穀」とお進みください。

ひろしま米

検索

全農ひろしまは、今後も広島県内のお米や産地の魅力を発信していきます。



全農ひろしま米穀ホームページ

〈お問合せ先〉 米穀総合課／三好:TEL.082-431-5450
米穀販売課／塚本:TEL.082-431-3000



① 広島県園芸振興協会の取り組み概要

■ほうれん草産地の視察について

広島県園芸振興協会は7月25日、ほうれん草で昇温抑制技術の実証試験を行っている「やじるしや」(広島市佐伯区湯来町・標高127m)を視察しました。

昨年、同協会が夏場のほうれん草栽培の課題である昇温抑制技術の確立のため、広島県農業技術センターで行った試験では、夏季の生産が困難な地域において1作120kg/a以上の収穫量となりました。「やじるしや」では同技術の実証試験を行っています。

■耕種概要

- ・品 種：ジャスティス
- ・栽植密度：条間15cm×株間10cm
- ・施 肥：基肥；N：P₂O₅：K₂O=5：1：3
追肥：本葉出葉後、液肥を4～5日置きで施用

■現地実証技術

(1) 昇温抑制区

【自動調光】

- ・遮光資材：遮光率50%
- ・制御方法：65klx以上で遮光、52klx以下で開放。65～52klxの間は直前の状態を維持。

【気化冷却】

- ・制御方法：噴霧時間：40秒/回、休止時間：180秒/回
噴霧条件：施設外照度65klx以上、気温25℃以上、相対湿度70%以下
- ・配 置：地上から2.5mの高さに3mピッチ

(2) 慣行区

【自動調光】

- ・遮光資材：消石灰をハウス外面に吹き付け(7月23日から常時遮光)

【気化冷却】

- ・なし



【現地検討会】



【昇温抑制区】



【慣行区】

■令和5年度実証結果

出芽率は、昇温抑制区で67%、慣行区で55%となり、昇温抑制区の方が12%高い結果となりました。また、収穫量は慣行区が0kg/aと出荷不能だったのに対し、昇温抑制区は播種後約31日で出荷規格に到達し、91kg/aの収穫量が得られました。

② 青果物の販売経過および情勢 (全国情勢と販売状況)

◆青果物〔令和5年9月～11月の〕全国情勢と11月末販売状況

※金額は全て税抜

令和5年9月～11月の平均気温は春、夏に続き、気象庁の統計開始から最も高くなりました。降水量は、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり少なかった一方、北日本日本海側でかなり多くなりました。日照時間は全国的に長く、特に東・西日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で長くなりました。野菜の生育状況は、高温の影響を受けたことにより、全般的に生育遅延等が起こっています。

そのような中、JA全農ひろしまの青果物の取り扱い(令和5年11月末累計)のうち、卸売市場仕向けについては、出荷重量9,075トン(前年比93%)、販売金額3,341百万円(同107%)、単価368円/キロ(同115%)で推移しています。

■全農ひろしまの市場販売状況(令和5年4月～令和5年11月累計)

	数量		金額		単価	
	(t)	前年比	(千円)	前年比	(円/kg)	前年比
野菜合計	9,075	93%	3,340,584	107%	368	115%
トマト	2,528	97%	868,894	108%	344	111%
青ねぎ	1,095	101%	726,098	117%	664	117%
ほうれんそう	447	98%	268,021	108%	599	110%
アスパラガス	197	88%	249,511	99%	1,266	112%
こまつな	855	103%	220,734	112%	258	109%
きゅうり	713	99%	196,910	119%	276	119%
ミニトマト	153.6	91%	110,459	95%	719	104%
わけぎ	87	61%	70,917	77%	814	125%
キャベツ	945	80%	69,008	88%	73	111%
なす	217	88%	62,565	112%	288	126%
豌豆	45	94%	58,492	108%	2,909	112%
だいこん	630	73%	55,535	65%	88	90%
ピーマン	141	79%	53,717	112%	381	142%
ちんげんさい	154	116%	52,726	121%	343	104%
その他の葉茎菜類	134	83%	44,401	92%	1,557	116%
ばれいしょ	259	180%	43,538	213%	168	118%
その他	91	60%	39,555	80%	436	132%

※全農ひろしまの主要品目別市場出荷実績

〈お問合せ先〉園芸課／^{ふじた}藤田：TEL.082-846-4708

◆ 11月単月の概況

【出荷量】

○11月単月の出荷量は前年と比べ23.5t増加し、(前年比102%)特にキャベツ47.5t(同119%)、トマト21.5t(同134%)、ほうれん草5.3t(同110%)の出荷量が増加しました。

○全体出荷数量が増加している一方で、白ねぎ▲33t(同49%)、青ねぎ▲3.4t(同97%)、豌豆▲2.6t(同80%)と前年に比べ減少した品目もあり、高温や降水量が少なかった影響で、出荷開始時期の遅延や生育不良が発生し、数量の低下につながりました。

【単価・金額】

○11月単月の出荷量は増加し、kg単価は329円/kg(前年比103%)と前年を上回ったため、販売金額は347百万円(同105%)となりました。

○kg単価では、白ねぎ476円/kg(同156%)、こまつな262円/kg(同126%)、ピーマン294円/kg(同121%)が前年を大きく上回りました。

○全体的に単価が上がっている一方で、ブロッコリー290円/kg(同85%)、トマト256円/kg(同91%)、きゅうり270円/kg(同94%)と、前年に比べて下がった品目もありました。

◆ 12月の見通し

(1) 入荷量の見通し

12月の指定野菜(15品目)は、北海道、東海、中国、四国、九州産が出回り、入荷量は、前月、前年、平年と同等と見込まれます。

(2) 卸売価格の見通し

このような入荷量のもとで、12月の指定野菜の卸売価格については、前月を下回り、前年、平年を上回ると見込まれます。

○ 品目別の入荷量・卸売価格の見通し(12月)

品目	入 荷 量			卸 売 価 格			(参考)前年12月の主産地シェア(%)
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	=	=	=	ㇿ	=	ㇿ	長崎(62)、福岡(17)、鹿児島(9)
にんじん	ㇿ	=	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	長崎(54)、熊本(35)
はくさい	ㇿ	=	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	大分(44)、岡山(17)、鹿児島(17)、宮崎(13)
キャベツ	=	=	=	ㇿ	=	ㇿ	愛知(49)、福岡(17)、熊本(9)、宮崎(6)
ほうれんそう	ㇿ	=	=	=	=	=	広島(62)、福岡(24)
青ねぎ	=	=	=	ㇿ	=	=	広島(72)、大分(10)、福岡(5)
白ねぎ	ㇿ	ㇿ	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	鳥取(50)、広島(22)、大分(13)
レタス	=	=	=	ㇿ	=	=	長崎(41)、福岡(23)、香川(22)
きゅうり	=	=	ㇿ	ㇿ	=	=	宮崎(45)、広島(15)、熊本(13)、鹿児島(9)
なす	ㇿ	=	=	=	=	=	福岡(74)、佐賀(19)
トマト(ミニトマトを除く)	=	=	=	ㇿ	=	ㇿ	熊本(73)、島根(10)、宮崎(8)
ピーマン	ㇿ	ㇿ	ㇿ	=	ㇿ	=	宮崎(35)、鹿児島(31)、高知(16)
ばれいしょ	=	=	=	=	=	ㇿ	北海道(90)
さといも	=	=	=	=	=	=	愛媛(85)、宮崎(12)
たまねぎ	=	ㇿ	=	=	ㇿ	ㇿ	北海道(99)
計	=	=	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	

注:「平年」とは、過去5か年の平均値である。
※この資料の内容は、令和5年11月22日現在で見込んだものであり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。
※主要野菜の入荷及び卸売価格の見通のコメント及びグラフは令和5年11月30日中国四国農政局生産部園芸特産課の発表内容による。

(参考) 広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

品 目	9月上旬		9月中旬		9月下旬		10月上旬		10月中旬		10月下旬		11月上旬		11月中旬	
	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比
だいこん	214	72%	249	88%	255	74%	280	76%	403	93%	384	88%	387	94%	367	81%
にんじん	148	81%	185	101%	139	73%	179	92%	177	88%	194	85%	152	65%	256	96%
はくさい	209	98%	256	103%	316	107%	311	90%	358	86%	418	87%	399	92%	403	94%
キャベツ	454	96%	539	117%	524	110%	431	85%	518	94%	542	98%	448	94%	401	79%
ほうれんそう	10	81%	14	95%	14	84%	14	56%	27	80%	40	90%	43	104%	48	104%
青ねぎ	34	84%	41	86%	48	89%	45	78%	48	79%	43	79%	32	83%	32	83%
白ねぎ	29	109%	31	102%	31	105%	25	73%	32	81%	43	77%	44	72%	48	69%
レタス	183	79%	195	96%	216	108%	178	86%	189	92%	187	82%	198	97%	201	94%
きゅうり	122	73%	154	105%	140	101%	119	83%	123	85%	146	101%	155	107%	121	78%
なす	49	69%	50	96%	50	112%	52	107%	59	106%	56	110%	53	108%	47	89%
トマト(ミニトマトを除く)	107	106%	110	111%	126	134%	77	77%	52	48%	82	85%	86	114%	94	105%
ピーマン	41	95%	37	88%	39	96%	33	79%	35	74%	35	80%	39	87%	53	115%
ばれいしょ	187	80%	265	113%	265	113%	214	85%	227	101%	258	106%	194	89%	168	82%
さといも	10	84%	26	130%	29	123%	23	124%	28	181%	39	198%	29	187%	14	92%
たまねぎ	331	75%	456	106%	372	84%	425	91%	408	89%	442	85%	409	95%	347	86%

資料:「広島市中央卸売市場日報」
注:平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

〈お問合せ先〉園芸課／^{ふじた}藤田:TEL.082-846-4708

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位:円/kg

品 目	9月上旬		9月中旬		9月下旬		10月上旬		10月中旬		10月下旬		11月上旬		11月中旬	
	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比
だいこん	149	129%	169	151%	126	112%	139	121%	137	145%	121	127%	92	109%	79	124%
にんじん	287	179%	322	183%	239	146%	272	164%	330	198%	317	200%	217	138%	178	136%
はくさい	98	86%	113	99%	81	70%	117	109%	156	188%	97	142%	86	120%	80	113%
キャベツ	93	92%	87	88%	90	89%	129	131%	117	131%	130	147%	153	152%	104	126%
ほうれんそう	1,175	110%	1,074	107%	938	104%	954	125%	779	114%	690	112%	557	104%	474	91%
青ねぎ	862	118%	823	114%	758	112%	764	115%	803	129%	787	128%	796	128%	761	129%
白ねぎ	442	108%	532	116%	511	117%	598	130%	645	148%	543	127%	501	121%	521	136%
レタス	263	138%	214	97%	157	79%	223	124%	252	161%	211	141%	166	109%	106	87%
きゅうり	413	106%	389	106%	337	94%	391	117%	499	156%	384	99%	296	89%	277	100%
なす	409	119%	535	135%	456	102%	427	99%	427	106%	439	104%	435	101%	408	98%
トマト(ミニトマトを除く)	459	102%	590	134%	495	105%	538	114%	804	209%	660	180%	402	92%	348	90%
ピーマン	560	107%	644	116%	633	127%	561	113%	606	137%	660	158%	564	129%	389	102%
ばれいしょ	136	89%	128	95%	122	96%	121	101%	124	101%	127	100%	119	91%	124	92%
さといも	315	93%	357	109%	316	106%	307	104%	300	106%	268	105%	237	101%	235	96%
たまねぎ	107	107%	107	105%	107	107%	116	121%	133	137%	146	151%	179	177%	200	187%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

月別の天候

全国 3か月予報(12月~2月)

令和5年11月21日14時00分 気象庁発表「向こう3か月の見通し」

12月~ 2月	気温	平均気温は、北日本で平年並または高い確率ともに40%、東・西日本と沖縄・奄美で高い確率60%です。
	降水量	降水量は、東日本太平洋側と西日本と沖縄・奄美で平年並または多い確率ともに40%です。
	降雪量	降雪量は、北日本日本海側で平年並または少ない確率ともに40%、東日本日本海側で少ない確率50%、西日本日本海側で少ない確率60%です。
12月	天候	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。西日本日本海側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、東日本で平年並または高い確率ともに40%、西日本と沖縄・奄美で高い確率50%です。
1月	天候	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東・西日本日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東・西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、北日本で平年並または高い確率ともに40%、東・西日本と沖縄・奄美で高い確率50%です。
	降水量	降水量は、東日本太平洋側と西日本と沖縄・奄美で平年並または多い確率ともに40%です。
2月	天候	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東・西日本日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東・西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、北日本で平年並または高い確率ともに40%、東・西日本と沖縄・奄美で高い確率50%です。
	降水量	降水量は、東日本太平洋側と西日本と沖縄・奄美で平年並または多い確率ともに40%です。

出典:気象庁ホームページ

〈お問合せ先〉園芸課／^{ふじた}藤田:TEL.082-846-4708

TOPICS

トピックス



耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の取り組み

●3-R稲刈り体験会を開催

9月23日、世羅町で資源循環型農業に取り組む、農業法人「おぐにフィールド」の圃場で3-R(さんあーる)稲刈り体験会を開催しました。耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の取り組みを知ってもらうことが目的で、5月に同じ圃場で田植えをした親子30人が参加しました。

参加者は、3-R商品の「循環米せらにしあきさかり」の稲を1株ずつ丁寧に刈り取りました。また、ラジコン草刈り機や農業用ドローン、コンバインを間近で見学し、資源循環型農業の取り組みについて学んだ後、炊き立ての「循環米せらにしあきさかり」でおむすびを作り、昼食を楽しみました。

家族で参加した高塚遥真くん(9)は、「稲刈りをするのは初めてで楽しかった。また来年もやりたい」と笑顔で話してくれました。



▲集合写真



▲コンバインを見学する様子

●3-Rブランド「広島県産 循環野菜 きざみねぎ」の販売開始

カット野菜の製造、販売を行う株式会社T&E(呉市)は10月5日から、広島県内のマックスバリュ西日本株式会社の店舗で、耕畜連携・資源循環ブランド3-R商品「広島県産 循環野菜 きざみねぎ」の販売を始めました。

同商品の原料となる青ねぎは、広島県産の畜産たい肥を使った土耕栽培で、土壌診断などにより余剰の肥料を使用せず環境に配慮して生産されており、「3-R」に認定されています。

青ねぎの生産者代表の中谷道宣さんは「3-Rの周知を図るとともに、様々な青果物で展開が広がるように頑張っていきたい」と話してくれました。



▲青ねぎの生産者代表の中谷道宣さん

●耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」のInstagram

Instagram(インスタグラム)3-Rのアカウントを開設し、3-R生産者の方の想いや3-Rの取り組みなどを消費者の方に向けて発信しています。



【アカウント名:@3r_san.aaru】
フォロー&いいね!お願いします♪

〈お問合せ先〉改革推進課／^{かりや}狩谷:TEL.082-846-4701

営農技術情報

『令和5年度JAグループ担い手アグリサミット』報告

令和5年10月25日、26日の2日間、中四国営農資材事業所と広島県本部が共催で、「資源循環型と持続性の高い農業の実現」をテーマにJAグループ担い手アグリサミットを開催しました。

天候にも恵まれ、中四国の担い手農家を中心に1,100名を超える方々にご参加いただきました。

実演会の内容・様子については、JA全農ひろしまのホームページで公開しますので、ぜひ一度ご覧ください。(12月公開予定)



▲広島営農技術センター（東広島市河内町入野）

★実演会★

「玉ねぎ直播機」、「直進アシストトラクタ」、「野菜高速局所施肥機」、「白ネギ防除機」、「野菜自動防除機」、「ラジコン草刈機」の実演を行いました。一部の実演会では試乗も行い、多くの方に体験いただきました。



★圃場散策ツアー★

広島営農技術センターの取り組みを紹介する「圃場散策ツアー」を実施しました。営農技術センター内を巡回し、試験中の作物や栽培技術に関する説明を行いました。



★セミナー★

「水田における有効な耕うんの方法について」、「アスパラガスの枠板式高畝栽培について」、「環境調和型農業の取り組みについて」、「ザルビオで可変施肥に挑戦!」、「新たな水稻直播技術『リゾケア』について」、「近年問題となっている水稻病害虫・雑草対策について」、「土づくりからの水稻収量向上対策について」の7テーマで実施しました。



★展示・相談ブース★

今回のメインテーマである「資源循環型と持続性の高い農業の実現」について、新技術や農業機械をはじめ、生産資材や園芸施設、出荷資材、更には営農支援に関する情報コーナーなど29のブースを設置しました。

また、VRやトラクター型の体験機で農作業事故の疑似体験ができる特設コーナーを設け、農作業事故ゼロに向けた啓発も行いました。



〈お問合せ先〉 広島営農技術センター／片島：TEL.082-437-2317

肥料・農薬情報

令和5年度水稻展示圃結果(農薬)について

今年度も各地域において、水稻病虫害や雑草に対する様々な試験を実施いたしました。その結果の一部をご紹介しますので、次年度に向け、参考にしてください。

(1)箱処理剤分野

令和5年度は、直近5年の中では「トビイロウンカ」の飛来数が比較的少ない年でした。しかし、8月下旬に南部で飛来が確認された後、9月下旬以降、同エリアの複数地点で坪枯れの発生を確認しました。(図1) **ウンカ類の飛来状況は予測が困難**であり、「トビイロウンカ」は特に増殖率が高いのが特徴です。ウンカ類に対して長期残効性を有する「ピラキサルト含有箱処理剤」を使用し、**生育後半まで低密度に抑えることがポイント**です。

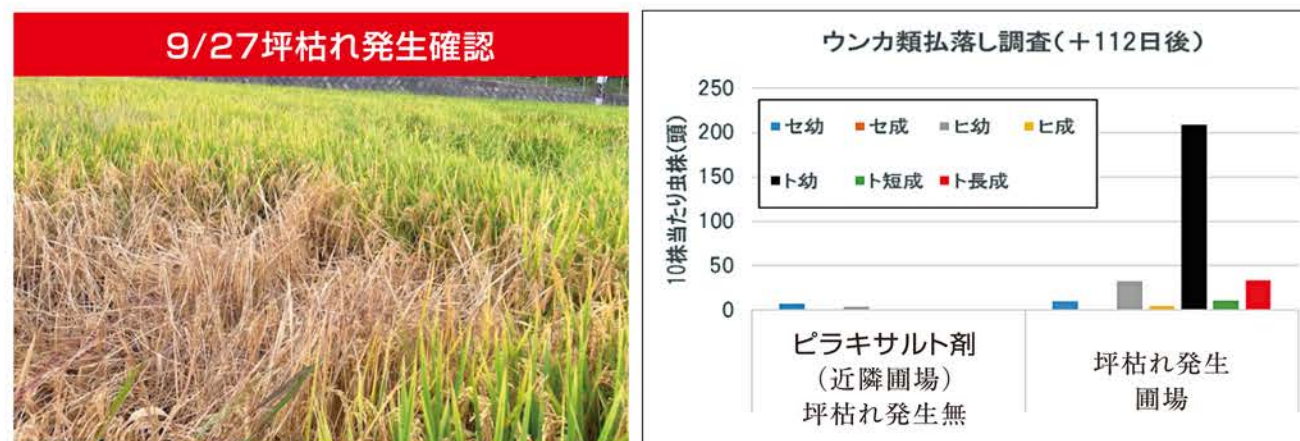


図1 今年坪枯れが発生した圃場と10株あたりのウンカ類虫数

また、新規殺虫剤成分「アレス含有剤」は、ウンカ類に対して「ピラキサルト含有剤」に次ぐ長期残効性を有しています。一成分で水稻主要害虫(初期害虫、ウンカ類、長目、イナゴ類など)の防除が可能な低コスト剤です。

★★おすすめ箱処理剤★★

防人	スクラム・フルスロットル	稲名人 NEW
ピラキサルト含有剤	ピラキサルト含有剤+ 紋枯病対策成分入り	アレス含有剤 【低コスト箱処理剤】
		

(2)初期除草剤分野

近年、春先の気温が上昇したり、鶏ふんなどの有機物の投入が増えたりする中で、藻類の発生が問題となっています。特に、一発除草剤としてジャンボ、FG、エアー剤などの省力製剤が普及拡大していますが、藻類が発生すると、一発除草剤の散布が困難となります。

藻類抑制効果をもつ「ジメタメトリン」を多く含む新たな初期除草剤「**先陣ジャンボ・200FG**」が登場しました。「先陣ジャンボ・200FG」を使用した現地試験では、対照圃場と比べて、藻類を抑制できることが確認できました。(図2)



図2 隣接圃場における「先陣ジャンボ」展示圃の藻類発生状況(代かき翌日処理の12日後)

(3)一発除草剤分野

★**高機能剤★カイルキZ剤** :カイルキZ剤に含まれる有効成分「**イブフェンカルバゾン**」が、**ノビエへの効果が高く、長期間発生を抑えます。通常量で不効となる草種がないため、殺草スペクトラムが広く、クログワイ、オモダカ等にも高い効果を示します。**(図3)



図3 隣接圃場における「カイルキZ1キロ粒剤」展示圃結果(田植え同時処理93日後)

★**低コスト剤★サラブレットGO剤** :**低コスト**でありながら、4成分でSU抵抗性雑草や多年生雑草を含む幅広い草種に効果を発揮します。現地試験では無処理区と比較して雑草を抑制したことを確認できました。(図4)



図4 「サラブレットGOフロアブル」展示圃結果(田植え翌日処理37日後)

〈お問合せ先〉肥料農薬課／谷保:TEL.082-846-4705

農業機械情報

① 中古農機マッチングシステム Re:Boon(リブーン)のご紹介

生産資材コストの低減が求められているなか、JA全農では共同購入農機の開発を順次展開しています。

一方、土地利用型作物では機械化が進み需要が高まっている一方で、買い替えまでの期間が長い傾向から、国内向け農業機械の出荷台数は年々減少しており、さらに中古農機市場は品薄状態にあります。

このような状況をふまえて、中古農機の流通促進をはかるため広島県内のJAと当県本部では、売りたい中古農機と買いたい農家組合員をマッチングする「中古農機マッチングシステム Re:Boon」(以下、「Re:Boon[※]」)の運用を開始しました。

中古農機の取り扱いについては、古物商の許可を得たJA農機センターにて、一般社団法人日本農業機械化協会認定の中古農機査定士を有した職員等が、売りたい中古農機の査定、買いたい中古農機の紹介、修理・整備したうえで引渡しまでご案内いたします。

【メリット】

- ・販売希望者と購入希望者が同じシステム(Re:Boon)を利用することで、より具体的な中古農機の情報を共有できる。
- ・買いたい中古農機の情報をJA農機センターへ依頼しておくことで、該当する中古農機が見つければJAから連絡がある。

※Re:Boonとは…リサイクル、再生を表す「RE:」と中古農機が新たなユーザーの元で再びエンジンが動くその息吹と感動を表した「Boon」を結合した造語です。



図:中古農機マッチングシステムRe:Boonのマッチングイメージ

まずは、お近くの農機センターへお問合せください。

今後、中古農機をはじめ農業機械等に関する情報を発信・掲載しますので、Re:Boonへの会員登録をお願いします。会員登録方法は全農ひろしまホームページからご確認ください。



全農ひろしまホームページ

② 共同購入コンバイン導入に向けた取り組みについて

JAグループは、大型・中型トラクタに続く第3弾として、共同購入コンバインを開発中です。

各メーカーから提案があったコンバインの中から令和5年12月に共同購入機を選定し、令和6年1月に製品発表、同年4月に供給開始を予定しています。

共同購入 第3弾
生産者&JA
共同購入コンバイン
開発中!!

全国の生産者の需要結集にむけ、購入意向を確認する取り組みを実施し、**2,500件を上回る購入したいという声をいただきました。**本取り組みにおける「生産者の皆様の期待の声」を低価格実現につなげていきます。令和6年1月以降の製品発表をご期待ください。

令和4年4月から7月
全国7千件以上の生産者アンケートおよび稲作生産者との意見交換

令和4年9月
国内メーカーへの開発要求

令和5年7月まで
購入意向の確認

令和6年1月以降
製品と価格のご案内

令和6年4月以降
出荷開始(予定)

共同購入は、協同組合らしい取り組みだと考える。JAグループ一丸となって低価格を実現して欲しい。

稲作農家の経営は厳しい状況が続いているなか、農機関連への出費を抑えることができる共同購入はありがたい。

経営規模は小さく、コンバインは4条を使用している。共同購入機を購入し機械更新することで、可能な限り農機を続けたい。

私の地域では、山間部も多く、5条刈以上の大きな機械が入らない地域もある。4条刈は山間部でも対応できる適切な大きさである。

現在5条刈90馬力のコンバインを2台所有している。経営規模拡大にともない、4条50馬力の購入を検討しており、本取り組みに期待している。

要求した主な機能

4条刈50馬力クラス
車体水平制御
幅広クローラ
刈取オートクラッチ
掻き込みペダル・スイッチ
オーガ自動制御(旋回、収納)
大型後方ミラー(左右)
1日作業可能な燃料タンク(概ね6時間程度を想定)

Q 農業機械の共同購入とは?

A JAグループで生産者の需要をとりまとめ、全農が生産者の代理人として一括発注・仕入をおこなうことで、製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元する取り組みです。共同購入型式として選定された機械はどなたでも購入いただけます。

共同購入コンバイン(イメージ)
JAグループ/全農

〈お問合せ先〉農業機械課／^{かん}神田:TEL.0824-62-3103